

大学の学習成果の把握に関する方針（アセスメント・ポリシー）

高野山大学では、学生の学修成果について、アドミッション・ポリシー（学生の受け入れ方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施方針）、ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）の3つのポリシーに基づき、「機関レベル（大学全体）」、「教育課程レベル（学部・研究科）」、「科目レベル」の3段階で、学修成果を下記の通り検証する。またその結果に基づき改善計画を策定し、より質の高い学修成果が身につくよう教育の改善・向上に取り組む。

1. 機関レベル（大学全体）

入学段階において、各種入学試験における成績、調査書等の記載内容、入学時アンケート調査等を用いて、アドミッション・ポリシーで求める能力・意欲が身についているか検証を行う。また、卒業段階において、就職率、資格・免許を活かした専門領域への就職率及び進学率、卒業時アンケート等から学修成果の達成状況を検証する。

2. 教育課程レベル（学部・研究科）

学部・学科、研究科・専攻が掲げるディプロマ・ポリシーの学修到達目標が達成されているか、免許・資格取得状況の把握、卒業・留年率、卒業・修士・博士論文、単位修得状況（GPA）、就職率及び進学率、研究報告等を用いて検証する。

3. 科目レベル

科目ごとの学生の学修成果については、授業アンケートの結果及びシラバスに定める評価方法、個人成績に沿って検証する。

○上記検証は随時、学部・学科及び研究科ごとに取りまとめられ、教授会並びに大学院委員会にて改善計画を策定し、全学的な教育改革・改善、学生・学習支援の改善等に活用する。